

大田区伝統工芸士の認定について

1 制度概要

区は、伝統工芸士の社会的評価の向上を図るとともに、伝統工芸に対する区民の興味・関心を喚起するため、区内において伝統的な手工芸技術を習得し、永年に渡り、当該技術を用いた工芸品等の制作に従事する者を大田区伝統工芸士として認定する制度を平成29年10月に創設した。

既に大田区伝統工芸士として8名の方を認定しており、今回の認定により11名となった。

2 今年度の認定工芸士

令和2年12月1日に大田区伝統工芸士認定式を開催。

大田区長から認定証を贈呈。以下、3名の方が本年度認定を受けた。

- (1) 宮崎 正明氏（染色用型紙） 制作実務年数26年。

型紙を伝統技法により制作し、江戸小紋、着物、手ぬぐいなどの文様を手掛ける。また寛永寺や浜離宮など数多くの文化財の修復、復元を手掛ける。

- (2) 田中 康友氏（和笛） 制作実務年数15年。

日本全国の祭りなどの横笛制作を手掛ける。調律技術に優れた数少ない職人の一人。相手の希望に合わせて音作りを行う「My 調律」を確立するまでに至り、難しかったドレミ平均律の調律にも成功した。同氏の笛は今ではオーケストラやジャズなどの中においても使用されている。

- (3) 小野 恒夫氏（彫刻） 制作実務年数45年。

テレビコマーシャルやテレビドラマなど多方面で氷彫刻作品を制作。「第2回明治神宮奉納氷彫刻大会最優秀賞」や「日本氷彫刻会冬季全国氷彫刻大会優秀賞（旭川）」などの賞を多数受賞。フルーツカービング、ソーパークービングなども手掛けている。



左から宮崎正明氏、田中康友氏
小野恒夫氏

3 認定後の広報

- (1) 区民の伝統工芸への興味・関心の喚起を図るため、大田区ホームページなどで紹介する。
- (2) おおた区報新年号の特集で伝統工芸を掲載予定。

4 今後の活動

令和3年2月27日から28日まで区民プラザで開催予定の「大田区伝統工芸展」で制作の実演を行う（予定）。今後も伝統工芸士の活動を通して区の伝統文化の継承と発展にご協力いただく。



宮崎正明氏の作品（染色用型紙）
夫婦鶴



田中康友氏の作品（和笛）
相模流能管



小野恒夫氏の作品（彫刻）
東日本大震災復興モニュメント